



この紙面をダウンロードできます



いつもと違う雨 甚大な水害 大雨・大水 河川氾濫

- 1967年8月28～29日 羽越豪雨
- 2020年7月26～29日 令和2年7月豪雨
- 2022年8月3～5日 令和4年8月大雨
- 2024年7月25～27日 令和6年7月大雨



だからこそ
何が起きてもおかしくない
ので
備えが大事！

そんな山形で
国土交通省は
どんな備えを？

大きな揺れ津波など 広い範囲で崩壊 地震・津波

- 850年と記録 出羽マニチュード7.0
- 1983年5月26日 昭和58年日本海中部地震 / マニチュード7.7
- 2011年3月11日 平成23年東北地方太平洋沖地震 / マニチュード9.0
- 2019年6月18日 山形県沖 / マニチュード6.7

突然 土砂が襲いかかる 土砂災害

- 1974年5月15日 鳥海山噴火 / 火砕物降下、崖崩れ、泥流
- 2009年2月 地滑り / 鶴岡市七三三街 / 地盤に侵襲、亀裂が発生
- 2012年4月 地滑り / 天童村附近 / 斜面が崩壊し、河川氾濫が発生
- 2022年12月31日 土砂崩れ / (鶴岡市市目)

これだけあるんだ
やまがたの
災害

山形県では
いままでどんな
自然災害が
あったのかな？

2024

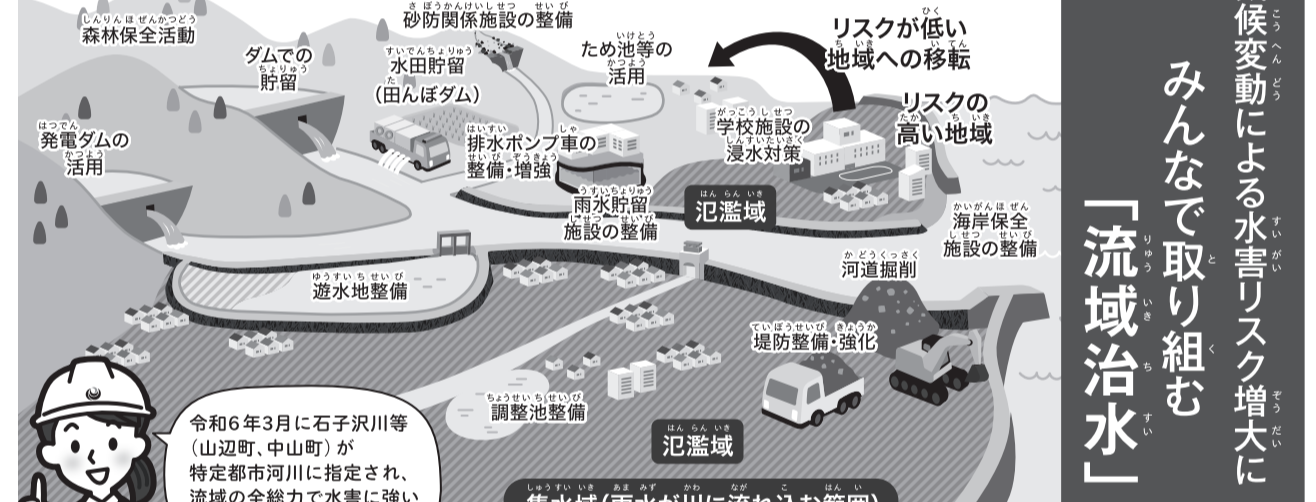
ぼうさい しゅつかん

いのちとくらしをまもる防災減災
期間 8月30日～9月5日

その他 気象災害	その他 地震災害
■1967年12月～1968年2月 大雪	■1804年7月10日 象潟地震 / マグニチュード7.0
■1969年8月7-8日 大雨	■1833年12月7日 羽前・羽後・越後・佐渡 / マグニチュード7.5
■1976年10月29-30日 酒田大火	■1894年10月22日 庄内地震 / マグニチュード7.0
■1978年6月25-27日 大雨	■1964年6月16日 新潟地震 / マグニチュード7.5
■1980年12月～1981年2月 昭和56年豪雪	出典：山形地方気象台ホームページ www.jma-net.go.jp/yamagata/index.html
■1983年12月～1984年4月 昭和59年豪雪	※最新の情報をもとに、一部表現変更、追記。
■1988年6月18日 降雹(ひょう被害)	
■2004年8月19-20日 台風第15号	
■2005年12月25日 突風	
■2008年8月14-15日 大雨	
■2019年10月11-13日 令和元年東日本台風	

やまがたの国土交通省の取組

あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」のイメージ



気候変動による水害リスク増大に
みんなで取り組む
「流域治水」



災害に強く 暮らしに欠かせない 「日本海沿岸東北自動車道」

道路は暮らしに欠かせない
ライフライン

今年元日に発生した津波が、山形県沿岸部に津波警報が発せられたため、国道7号の津波浸水域で通行止めを実施しました。これにより、新潟県内陸部を迂回する広域迂回となる経路の2倍以上の距離を走行する必要があります。

津波が来ると、道路が壊れるだけでなく、ライフラインが断絶する恐れがあります。津波が来たら、道路の状況を確認し、迂回するルートを確認してください。

まるとまると
ハザードマップ

町なかの電柱などに「浸水の深さ」や「避難ルート」の案内板を設置しています！

キーワード

【流域治水】堤防・ダムなどの施設のみでなく、河川流域の住民・自治体・国などが役割分担しながら水害対策に協力する考え方。

【特定都市河川】全国各地で水災害が激甚化・頻発化したことを受けて、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の実効性を高めるため、特定都市河川水災被害対策法の指定を受けた河川のこと。

近年、気候変動の影響により、水災リスクが増加しています。これからは、流域に関するみんなで対策を進める必要があります。それが「流域治水」です。

例えば、災害発生時の防災行動を整理した「マイ・タイムライン」を作成するなど、一人一人の行動が流域治水推進につながります。

水害から身を守るために
雨・川の水位確認

この雨大丈夫？ そんな時
キキル

大雨による災害危険度分布を地図上で表示。

災害時自分の行動を決める！
講習会 マイ・タイムライン

自分がいつ・何をすべきかをまとめたタイムライン。その作り方を学びます。

流域みんなで
水災害対策に
取り組む

河川防災

災害時も街を繋ぐ
暮らしに欠かせない
「強い道路」

道路防災

道路の異状を発見したら
道路緊急ダイヤルへ
お知らせ下さい
#9910

24時間受付(無料)

ライブカメラで見られる
道路情報サイト

地域を守り
暮らしを支えるダム

ダム防災

ダムは、大雨が降った際に、一時的に水を貯めこんで、徐々に下流に流す役割があります。

令和4年8月の大雨で、長井ダムが約78万立米の水を貯めこんで、下流の被害を軽減しました。

水を貯めこんだダムの様子
最上川水系 長井ダム

ダムの操作で
こんなに下流の水位が違う

国土交通省管理ダム
●白川ダム ●寒河江ダム ●長井ダム ●月山ダム ●横川ダム

ダムの役割
洪水調節 工業用水の確保
農業・水道用水の確保
河川環境の保全 発電

9.0m水位上昇
4.14m ダムが無いと
2.42m 今回の水位

置賜野川 谷地橋観測所(長井市)

土砂災害から
命と財産を守る

砂防防災

土砂災害とは、山や崖が崩壊したり、川の水と混ざり流出することによって、人命が奪われたり、建物が押しつぶされたりする災害のことです。大雨、地震、火山の噴火などがきっかけで発生します。「砂防」とは、このような災害から人や町を守ることです。

砂防施設の整備効果

発生後
発生前

令和4年8月3日からの大雨

明沢川第3号砂防堰堤(みょうざわがわだい3さぼうえんてい)

キーワード
【砂防=世界の「SABO」】日本は長年に渡り培った砂防技術で、世界各国に提供している。その大きな功績として、外国語には砂防を表わす適切な言葉がないことから、海外でも砂防は「SABO」と呼ばれている。